

平成 30 年度 (2018 年度)

富山大学経済学部

私費外国人留学生入試

小 論 文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題を開かないこと。
2. 試験問題は全部で4ページ、解答用紙は5枚、下書き用紙は1枚である。
試験開始の合図があってから確認すること。
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。
氏名を書いてはいけない。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
解答用紙に解答を記入する際には、以下の点に注意すること。
 - ①簡体字による解答は減点の対象となる。
 - ②解答はすべて横書きで書くこと。
 - ③解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、採点の対象としない。
5. 配付された試験問題および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

実施年月日
30.2.25
富山大学

問題 1

次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

(出典：宇野重規『保守主義とは何か』，中央公論新社，2016年，189～191頁)

- ※ 文章中のふりがな及び傍点は原文によるが，問題の作成にあたってふりがなの一部を追加した。
- ※ バーク (Edmund Burke, 1729-97年. 英国の政治思想家。フランス革命を批判し，保守主義思想の源流とされる。)

問 1

筆者は，「日本に本当に保守主義が存在したのかは疑問が残る」(下線部 a) と述べている。筆者がそのような考えるのはなぜであるか，80～100字程度で述べなさい。

問 2

筆者は，「バークの教えに適^{かな}う成熟した保守主義」(下線部 b) とはどのようなものであると考えているか，80～100字程度で述べなさい。

問 3

筆者は，日本の保守主義の未来のためには戦後日本の「いかなる『歴史』を尊重すべき」(下線部 c) であると考えているか，100～200字程度で述べなさい。

問題 2

次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

著作物引用箇所のため非公開

(出典：朝日新聞 2018年1月7日朝刊社説，体裁を一部変更)

問1

個人（市民）にとってのネット社会の利便性とは何か。問題文に沿って200字程度で説明しなさい。

問2

個人（市民）にとってのネット社会の危険性とは何か。問題文に沿って200字程度で説明しなさい。

問3

下線部「そこに敏感に反応する市民社会の人権感覚」は、どのようにすれば養うことができるであろうか。あなたの考えを200字程度で述べなさい。

平成30年度(2018年度) 富山大学経済学部 私費外国人留学生入試 解答用紙

科目 小論文

受験番号							

総点

問題1

問1(80~100字程度)

80

100

1-1

問2(80~100字程度)

80

100

1-2

受 験 番 号							

問3 (100~200字程度)

100

200

1-3

受 験 番 号							

問題2

問1 (200字程度)

100

200

2-1

下書き用紙